

ヤママユガ科の飼育日誌・その6(2022年10月25日)

#ヒメヤママユの羽化

有峰森林文化村
撮影:伊勢指導員

有峰に分布するヤママユガ科の生態の一部を解明するため、令和4年(2022)5月22日から有峰ビジターセンターにおいて近隣のミズナラの葉を与え飼育を始めました。8月5日時点での蛹化数は、ヤママユが9匹、ヒメヤママユが18匹でした。9月20日時点での羽化数は、ヤママユが7匹、ヒメヤママユ0匹でした。

10月24日ようやくヒメヤママユが羽化し始めました。10月24日現在の羽化率は33.3%です。

ヤママユに比べると羽化が約2カ月遅れました。自然界でもヤママユに比べヒメヤママユの羽化が遅くなることが知られています。羽化には気温の低下と日長(長夜短日)との関係が報告されています。

10月24日にヒメヤママユの羽化個体♂♀を撮影しました。25日ライトトラップに飛来した野生のヒメヤママユ♂個体と飼育個体♂を比較撮影しました。飼育個体♂の体長は60mm、飛来した野生個体♂の体長は70mmで、野生個体の方が明らかに体長は大きく、威厳を感じます。一方、飼育した個体には愛着があります。26日朝、飼育し新たに羽化した♀個体と野生の♂個体との交尾体を撮影しました。。やはり羽化や交尾のシーンは、とても神聖で、神秘的と実感しています。引き続きヒメヤママユの羽化の観察を続けていきます。

【参考文献】

- 1) 亀山俊哉他:「ヤママユガ(天蚕)」の繁殖と利用に関する研究 ～第一報～、岩手県立盛岡高校
- 2) 岸田泰則著:日本産蛾類標準図鑑 I II /学研

種名	食樹植物	卵数	孵化数(6/21)	孵化率
ヤママユ	ミズナラ	76	23	30.3%
ヒメヤママユ	ミズナラ	85	79	92.9%
クスサン	—	91	0	0

種名	終齢幼虫数(7/20)	蛹化数(8/5)	羽化数(10/26)	羽化率
ヤママユ	12	9	7	77.8%
ヒメヤママユ	28	18	6	33.3%
クスサン	0	0	0	0



羽化中のヒメヤママユ♀(10月24日撮影)



羽化中のヒメヤママユ♂(10月24日撮影)



羽化中のヒメヤママユ♂個体



羽化中のヒメヤママユ♂個体



飼育個体♂(左) 野生個体♂(右) (10月25日撮影)



ヒメヤママユの交尾体・飼育個体♀(左)、野生個体♂(右)